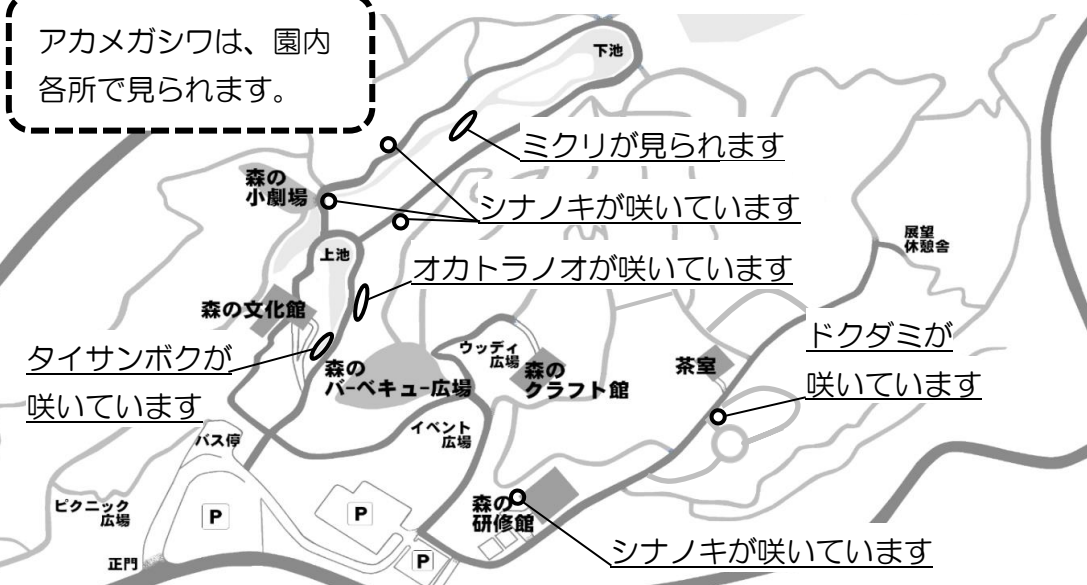


アカメガシワは、園内
各所で見られます。



アカメガシワの雄花と雌花 (トウダイグサ科)

裸地に最初に侵入する樹木。雌雄異株（雄株と雌株が完全に分かれている植物）のため、同じ形の葉の樹木の雄株と雌株から形の違う雄花と雌花が咲きます。不思議な感じがします。



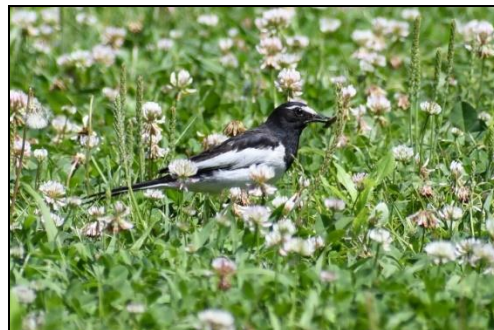
タイサンボク (モクレン科)

北米原産の常緑高木で、6月頃に大きな芳香性のある花が咲きます。花が大きくて美しく、一つの花の花期は短いけれど長期間次々に花が咲くため大変人気があります。



オカトラノオ (サクラソウ科)

白い花が、茎に近いところから先端に向かって順に咲いていきます。



セグロセキレイ (セキレイ科)

ハクセキレイは多いですが、セグロセキレイは最近少ないようです。

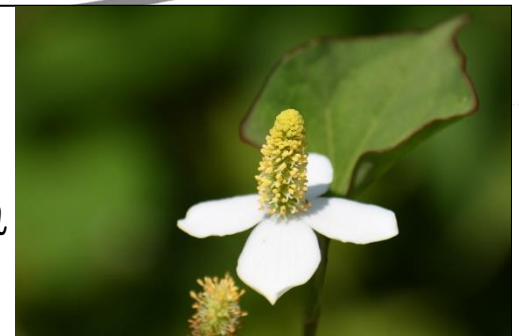


スッポン (スッポン科)

下池にスッポンのガメラが出現しました。

ドクダミ (ドクダミ科)

昔から民間薬として知られています。



ミツバチ (ミツバチ科) の蜜

今年も「三木山産はちみつ」を販売する予定です。ご期待ください。



ミクリ (ミクリ科) 実栗

栗を思わせる果実ができるので、「実栗 (みくり)」と呼ばれています。雌花と雄花は別々に咲きます。



シオカラトンボ (トンボ科)

上池、下池周辺で飛んでいます。



シナノキ (アオイ科)

6月～7月頃に開花し、昆虫がよく集まります。



ウシガエル (アカガエル科) がセグロセキレイ (セキレイ科) のヒナを丸のみ

「みどころ」ではありませんが、衝撃的な事実なので記載します。親から餌をもらおうと低く飛んでいたセグロセキレイのヒナに水中にいたウシガエルが飛びかかり丸のみしてしまいました。



ホオジロ (ホオジロ科)

草本の種子を懸命に食べていました。